

令和7年度伊勢工業高校

「信頼される学校であるための行動計画」

1 職員のコンプライアンス意識を一層高めます。

- 職員がコンプライアンスを自分事ととらえられるように、身近で起こった不祥事の事例をもとにこれまでの自身の行動を振り返りながら学んでいきます。
- 職員が高いコンプライアンス意識を持ち続けていくために、全体でのコンプライアンス研修（年2回）に加え、ミニコンプライアンス研修を毎月継続して実施します。
- 管理職は職員に積極的に声掛けを行い、潜在リスクを把握し、その排除に努めます。

2 職員が悩みや困りごとを相談しやすい職場環境をつくります。

- 職員が個人で困難事象を抱え込まないように、常に組織対応で取り組みます。
- 定期的開催される科長会議や運営委員会等において各職員の様子について状況を共有する時間を設けます。
- 校長は、職員との面談の機会を増やし、悩みや困りごとを相談しやすい環境づくり、働きやすい職場づくりに努めます。

3 生徒がより安心、安全に過ごせる学校を目指します。

- 差別やいじめを絶対に許さない学校づくりに努めます。
- 生徒の声を拾うアンテナを高くし、その困り感に寄り添います。
- いじめ防止委員会を定期的開催し、情報共有を図っていく中で、生徒の目線に立った指導に結びつけていきます。
- 体罰や不適切な指導のない学校を守り続けていくために、生徒の人権と人格の尊重について学ぶ研修を積極的に行います。

コンプライアンスのための

知識は研修で

意識は継続で

高めていきます。